

2024年〔令和6年〕金山沢 山行報告書

日 程：7月70日

参加者：土橋・中山・中野・白尾・岡村繁雄 他2名

行 程：二俣付近より下山〔二俣まで4時間・下山30分〕

過去の山行記録を調べると39年ぶりの金山沢である。

まだ梅雨が明けてないこともあり水量がやや多めで、出発時ですでにムツとする暑さである。



駐車場にて〔8:36〕



車道から登山道へ〔8:42〕



坊主滝到着〔8:45〕



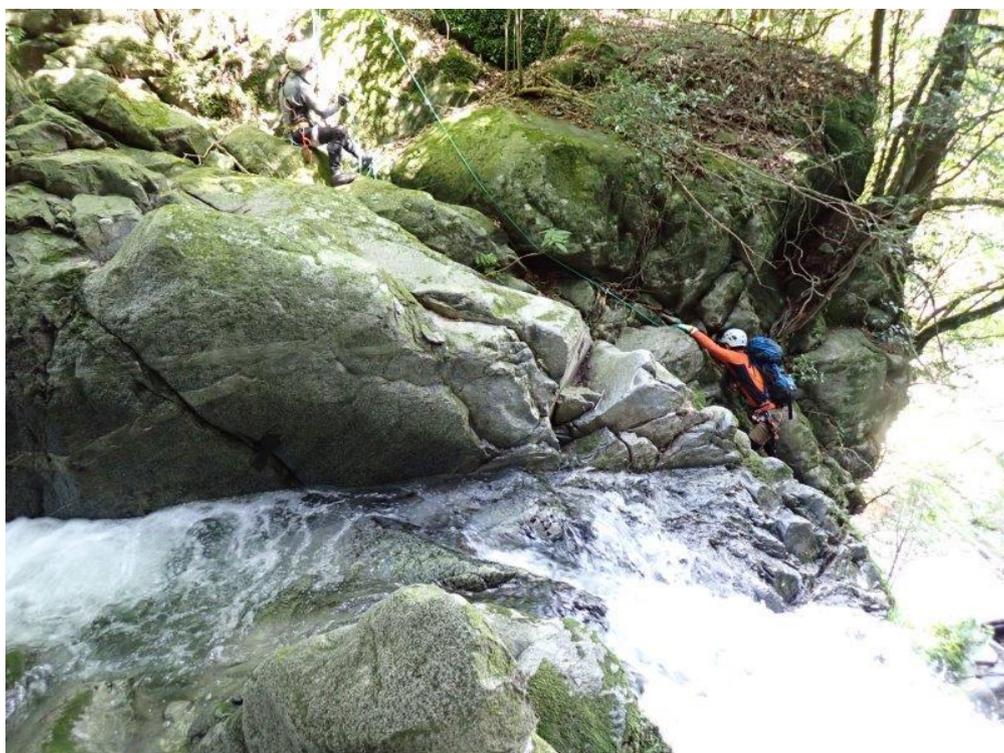
坊主滝前のうずらの橋

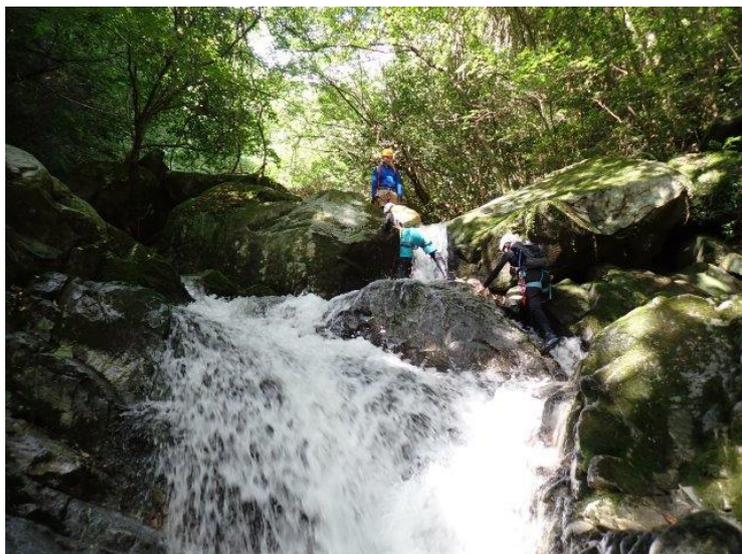


登攀開始 [8:48]



坊主滝 左岸を登る
[8:48~9:22]





坊主滝 次のナメ [9:24]



斜滝 [9:31]

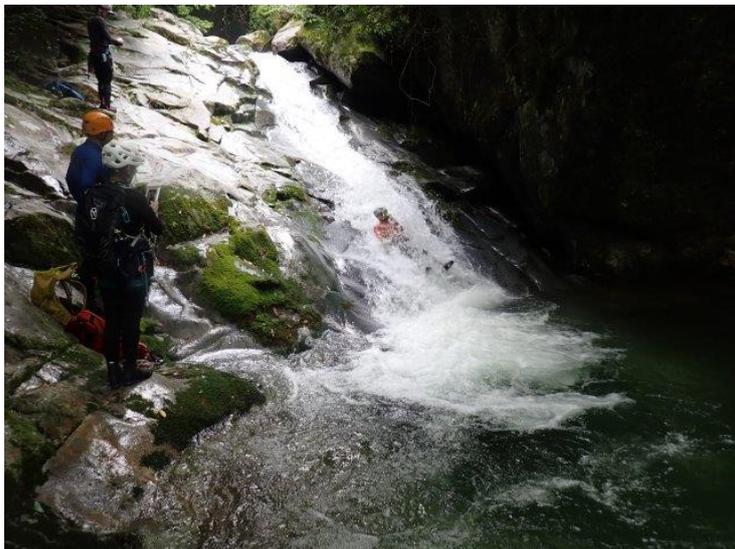


斜滝を正面からトライ [9:35]



[9:40]

各メンバーシャワークライミングを楽しみながら、途中の斜滝では天然ウォータースライダーで下界の暑さを忘れて楽しむ。



天然ウォータースライダー [9:43~9:46]



[9:50]



水量が多かったため左寄りを、へつって登攀 [9:56~10:25]





ハーケンにシュリングを掛けて突破

抜け口で確保するメンバー [10:31~10:58]



最初の砂防堤 上より撮影 [11:09]



二つ目の砂防堤にて〔11：29〕



〔11：45〕



〔11：52〕



[11 : 54]



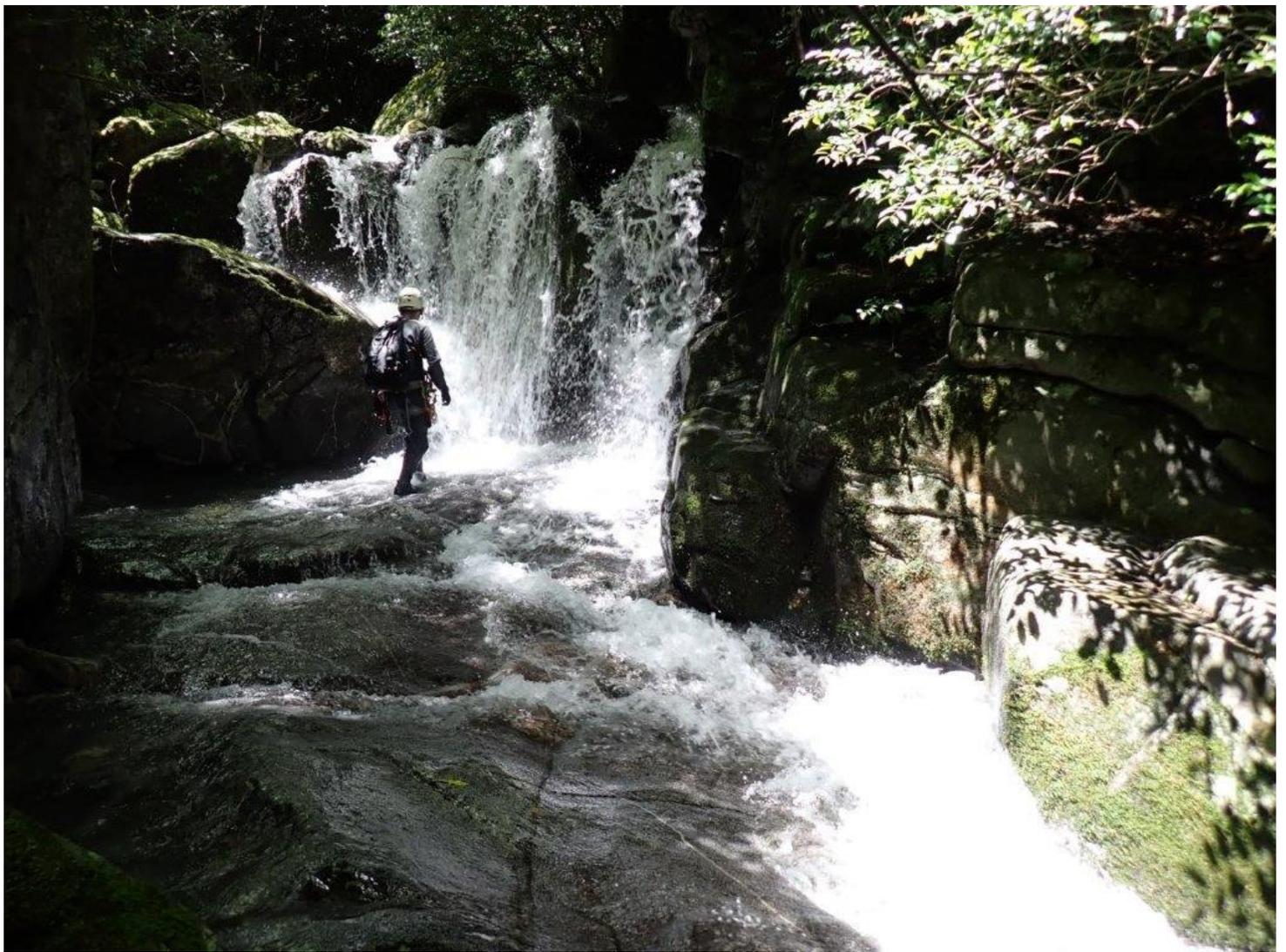
[11 : 56]



[11 : 59]



[12 : 08]



〔12：25〕



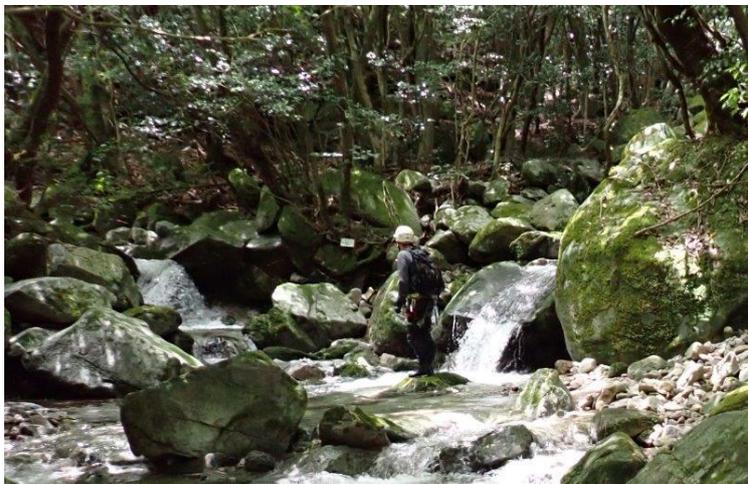
〔12：26～12：37〕

私は、今回フェルトの沢靴で臨んだため、微妙なスタンスに立てず、うまく乗り越えられなかった滝もあった。

苔が多い場合は、フェルトの沢靴の方が滑りにくくて良いが、岩主体の沢を楽しむ場合（例えば祝子川本流ゴルジュのなど）は、ラバーソールの沢靴の方が、フリクションが効いて登りやすい。



〔12：40〕



二俣〔12：41〕



沢登終了点にて〔12：47〕

前回は稜線に抜けるまで、長く暑かった記憶があった。

今回は二俣より右側左岸のすぐに、一般登山道用のロープが掛かってあるところで終了。

山頂まで行くのであれば、終了地点から往復約2時間を要すると考えられ、山頂にこだわらず金山の沢のみを楽しむ場合は、今回のコースは下山も楽である。

北九州山岳同好会「嵐」

Reported by S.Okamura Photo presented by S.Okamura